

新生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

教職員一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。

保護者の皆様ならびにご関係の皆様におかれましては、今日までさまざまなご心配やご苦勞を重ねてこられたことと存じます。心よりお慶び申し上げます。

また、本日の入学式にご臨席賜りましたご来賓の皆様、公私ともにご多用の中、ご参列いただきましたことに、深く感謝申し上げます。

新生の皆さん、今日から皆さんは寝屋川高校定時制の課程、すなわち「ねやてい」の一員です。

皆さんがいま、この場に居るのは、自らの意志で新しい一歩を踏み出した証だと思えます。

定時制高校を選ぶ理由は、人それぞれ違います。

そこに、正解も不正解もありません。

ただ一つ言えるのは、皆さんが「自分で考え、自分で選んだ」この選択には、責任が伴うということです。

ですが、同時に、胸を張っていいだけの価値と、誇りがあると、私は思っています。

さて、今日から始まる高校生活を前に、皆さんの今の気持ちはどうでしょうか。

「よし、頑張ろう」と前向きな人もいるでしょう。

一方で、「本当に続けられるだろうか」と不安を感じている人もいるかもしれません。

あるいは、まだ実感が湧かない、という人もいるでしょう。

どんな気持ちであっても構いません。

ですが、これだけは心に留めておいてください。

定時制に通うということは、「与えられた道」を歩くのではなく、

「自分で選んだ道」を歩くということです。

誰かに言われたから通う。

仕方がないから在籍する。

そういう場所ではありません。

忙しい日々の中で、きつと感じることもあるでしょう。思うように成績が伸びないことや、人間関係で悩むこともあるかもしれません。

「ここじゃなかったら」と、思う瞬間が、もしかしたらあるかもしれません。

ですが、そのたびに思い出してほしいのです。

皆さんは、自分自身で本校を選び、ここにいるということ。

それは、妥協ではなく、自分の現実と向き合い、自分の人生に責任を持つとした、立派な決断です。

「定時制だから」ではなく、「定時制を選んだ自分だから」できることがあります。

年齢や国籍など、背景の違う仲間と学ぶこと。

働きながら、生活しながら、学ぶこと。

簡単ではありませんが、その分、ここで得る経験は確かな力になります。

皆さんが日々積み重ねる一日一日は、  
誰かに与えられたものではなく、  
自分の意志で選び取ったものです。  
そのことに、どうか誇りを持ってください。

もちろん、高校生活を送る中で、迷うことや立ち止まることもあるでしょう。  
そんなときは、一人で抱え込む必要はありません。  
「ねやてい」には、皆さんの歩みに伴走する教職員や仲間がいます。  
自分で選んだ道だからこそ、支えを受けながら、最後まで歩き切ってほしいのです。  
責任とは、すべてを一人で背負うことではありません。  
投げ出さず、向き合い続けることです。  
そして、その姿勢こそが、皆さん自身の誇りとなっていきます。

今日、この「ねやてい」でのスタートは、その大切な一歩目です。  
自分で選んだ場所で、  
自分らしく学び、  
自分の足で前に進む。  
その積み重ねが、皆さんの未来を形づくっていくことを、私たちは信じています。  
これから始まる高校生活が、  
皆さんにとって、自信と誇りに満ちた時間となることを願い、式辞といたします。

令和八年四月七日  
大阪府立寝屋川高等学校  
准校長 服部 有晋